

令和4年中の交通事故発生状況

1 交通事故発生状況

(1) 全国及び管内各県の死者数

区分	死者数	増減数	増減率
全国	2,610	- 26	- 1.0%
管区計	355	+ 34	+ 10.6%
富山	34	+ 5	+ 17.2%
石川	22	- 4	- 15.4%
福井	27	+ 1	+ 3.8%
岐阜	75	+ 14	+ 23.0%
愛知	137	+ 20	+ 17.1%
三重	60	- 2	- 3.2%

(2) 県下の交通事故発生状況

区分	人身件数	死者数	負傷者数
令和4年	2,895	75	3,500
令和3年	2,911	61	3,648
増減数	- 16	+ 14	- 148
増減率	- 0.5%	+ 23.0%	- 4.1%

(3) 月別死者数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和4年	3	3	6	6	8	6	6	6	4	11	8	8
令和3年	3	6	7	3	7	3	7	6	1	7	5	6
増減数	0	- 3	- 1	+ 3	+ 1	+ 3	- 1	0	+ 3	+ 4	+ 3	+ 2

(4) ブロック別死者数

区分	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨	高速
令和4年	26	10	10	13	8	8
令和3年	15	14	15	5	6	6
増減数	+ 11	- 4	- 5	+ 8	+ 2	+ 2

(5) 年齢層別死者数

区分	子供	若年	高齢	その他
令和4年	0	1	48	26
令和3年	0	4	37	20
増減数	0	- 3	+ 11	+ 6

注：子供は中学生以下、若年は24歳以下、高齢者は65歳以上

2 死亡事故(72件、75人)の特徴

令和4年中の死亡事故は72件75人発生し、死者数は前年より14人増加した。全国での岐阜県の位置(ワースト順位)は、死者数11位、増減数3位、増減率6位。また、人口10万人当たりの死者数は3.82人で、全国ワースト2位。(全国:2.08人)

(1) 高齢者の死者が6割強(前年比+11人)

高齢者の死者が48人で前年より11人増加し、全死者(75人)の64.0%を占めた。このうち75歳以上の死者は37人で、高齢死者の77.1%を占めた。

(2) 自動車乗車中の死者が約5割(前年比+6人)

自動車乗車中の死者が34人(運転者23人・同乗者11人)で前年より6人増加し、全死者の45.3%を占め、シートベルト着用対象者は31人(適用除外3人を除く)のうち、非着用者が8人でこのうち2人は着用していれば死亡には至らなかったと思われる。

(3) 歩行中・自転車乗用中の死者があわせて約5割(前年比+9人)

歩行中(24人)・自転車乗用中(11人)の死者があわせて35人で前年より9人増加(歩行中+7人、自転車乗用中+2人)し、全死者の46.7%を占め、このうち高齢者が30人(歩行者20人・自転車10人)で、歩行中・自転車乗用中死者の85.7%を占めた。また、歩行中は夜間に21人、自転車乗用中は昼間に7人の被害であった。

(4) 飲酒関係の事故が前年の1.5倍(前年比+2件)

飲酒関係事故が6件で前年より2件増加し、全事故(72件)の8.3%を占め、大半が深夜から未明の発生であった。

○ 若年運転者事故は4件で全運転者事故の6.5% [前年:8件・16.3%]

○ 高齢運転者事故は21件で全運転者事故の33.9% [前年:17件・34.7%]

○ 男性運転者事故は47件で全運転者事故の75.8% [前年:41件・83.7%]

○ 女性運転者事故は15件で全運転者事故の24.2% [前年:8件・16.3%]

○ 飲酒関係事故は6件で全事故の8.3% [前年:4件・6.9%]

注:各運転者事故は、原付以上の運転者が第1当事者(主たる原因)となったもの。

飲酒関係事故は、原付以上の第1当事者が飲酒状態による事故で検知不能を含む。

3 「30日死者」(24時間を経過し30日以内に死亡した者)

30日死者は7人で、前年より4人増加。

※令和4年12月末日時点で集計。

状態別	合計	歩行者	自転車	自動二輪	原付	自動車
	7	5	1			1
年齢層別	合計	子供	24歳以下	25~59歳	60~64歳	高齢者
	7			2		5

《年間死者数推移》

注:指数はH24を100として算出

年別	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
年間死者数	121	125	93	106	90	75	91	84	43	61	75
指数	100	103	77	88	74	62	75	69	36	50	62

《参考》

年別	S23	S45	S56	S63	H2	H15
年間	79	317	160	214	272	186

※S23は現行統計制度開始した年、S45は死者数のピークの年、S56はピーク後のボトムの年、S63は200人を超えた年、H2は平成年間のピークの年、